



**岩国市のバイパス整備について**

岩国市には、主要な幹線道路として国道2号・188号がありますが、広島県大竹市小方から長野までの区間には、「主要渋滞箇所」が15カ所あり、追突などの交通事故も多発しています。

こうしたことから、国土交通省では、大竹市小方から山手町までの区間において、国道2号のバイパス「岩国・大竹道路」（延長約10km）を整備しています。

また国道188号のバイパスである「岩国南バイパス」（延長約5km）は、平成20年までに山手町から藤生町までの全区間が暫定2車線で開通し、29年度からは、南伸の事業化に向けた取り組みが始められています。

こうした幹線道路の整備は、交通混雑の緩和や交通安全の確保はもちろんのこと、都市間ネットワークの構築による広島広域都市圏内の連携・交流や、ダブルネットワークの確保による災害に強い道づくりとして大変重要です。

また移動時間の短縮などによる観光・ビジネスなどの面での潜在的な地域力の底上げや、岩国錦帯橋空港や重要港湾・岩国港などの輸送施設、三次救急医療機関である岩国医療センターやいわくに消防防災センターなどからなる医療・防災・交流拠点や愛宕スポーツコンプレックスなどが集積する愛宕地区、市が岩国医療センター跡地において、福祉・交流拠点のまちづくりを目指す黒磯地区へのアクセシビリティの向上など、さまざまな効果が期待されており、地方創生、国土強靱化に欠くことができないものです。

**「岩国・大竹道路」**

岩国・大竹道路は、平成13年度に事業着手され、26年度からは室の木町で、27年度からは和木町で、28年度からは大竹市で工事が始まっており、29年度以降、調査設計が予定されています。

岩国・大竹道路の区間のほとんどはトンネルと橋で構成

# 国道2号と国道188号のバイパス整備について



され、大竹市御園地区で山陽自動車道に接続し、山手町では岩国南バイパスに接続する計画となっています。

## 「岩国南バイパス」の南伸

岩国南バイパスは、平成20年3月に暫定供用され、その後、これに取り付く道路も次々と整備が進み、岩国市の道路環境は大きく様変わりしました。

一方で、藤生町から南の地域では、中心市街地や柳井市方面に向かう主要な路線が国道188号だけという道路事情のため、渋滞などによる生活上の支障が著しく、岩国南バイパスの南伸が長年、強く望まれてきました。

こうした中、国土交通省に要望してきた岩国南バイパスの南伸について、平成29年度から、藤生町から長野付近までの約7kmを対象区間として「概略ルート・構造等の検討」が行われ、30年2月の中国地方小委員会において「国道188号の渋滞区間や災害・事故など現道課題の解消及び南側の工業団地へのアクセスを考慮し、地域振興を支援する道路ネットワークの確保」が可能な「全線バイパス案」のルート帯とすることが妥当と判断されました。

今後は、事業化に向け「都市計画・環境アセスメント」を進めるための調査を行うこととなっています。

## 岩国市の幹線道路のこれから

自動運転化など技術革新新目覚ましい昨今、自動車は依然として市民の皆さんの重要な移動手段です。

こうした中、広島広域都市圏の西の要衝である岩国市にとって、幹線道路は周辺市町と共榮していくための重要な都市基盤施設であり、スピード感を持って整備を進めていくことが大切です。

市では今後も、周辺の自治体や関係機関としっかりと連携しながら、多くの人々の期待を力に、岩国・大竹道路の早期完成や岩国南バイパスの南伸の早期事業化に向け、官民一体となって、幹線道路の整備に取り組んでいきます。